

建設業経理事務士 3級 合格ポイント集

Q. 1 勘定科目 I

次の項目にあてはまる勘定科目を答えなさい。

- 1) 工事代金の未収額を処理する勘定（一般企業における売掛金と同様）
- 2) 工事途中の原価を表す勘定（一般企業における仕掛品）
- 3) 工事費用の代金の未払額を処理する勘定
- 4) 工事完成・引渡し前の工事代金の前受額を処理する勘定

Q. 2 勘定科目 II

次の項目にあてはまる勘定科目を答えなさい。

- 1) 事業主（店主）の元手
- 2) 事業主による会社への一時的な出資額
- 3) 事業主による会社からの一時的な引出額
- 4) 工事代金・一般企業における売上高
- 5) 工事原価・一般企業における売上原価

Q. 3 等式

次の表にあてはまる金額を答えなさい。

期首資本(純資産)	期末資本(純資産)	当期収益	当期費用	当期純利益
250	()	90	70	()
300	330	120	()	()
()	190	()	80	50
320	()	180	()	60

Q. 4 現金

次の一連の取引について仕訳を示しなさい。

- 1) 現金の実際有高を調べたところ、帳簿価額より ¥ 100 過剰であった。
- 2) その原因の一部は、受取利息 ¥70 の記帳もれであった。
- 3) 決算に際し、残額は雑収入勘定で処理することとした。

Q. 5 当座預金

次の一連の取引について仕訳を示しなさい。

- 1) N S 銀行と当座借越契約を結び、当座預金口座に現金 ¥5,000 を預入れた。
- 2) 東京建材(株)に対する工事未払金 ¥3,000 を小切手を振出して支払った。
- 3) 借入金の利息 ¥500 が当座預金から引き落とされた。

Q. 6 当座借越

次の一連の取引について仕訳を示しなさい。

- 1) 工事が完成したので、長崎不動産に引渡し、その代金 ¥150,000 を同店振出しの小切手により受取り、当座預金口座に預入れた。なお、当座借越勘定の残高は ¥80,000 である。
- 2) 札幌工務店は、工事未払金の支払のため ¥60,000 の小切手を振出した。なお、当座預金残高は ¥35,000 であったが、当座借越契約（借越限度額 ¥50,000）を結んでいる。

Q. 7 小口現金

次の一連の取引について仕訳を示しなさい。

- 1) 島根建設では定額資金前渡制度（インプレスト・システム）を採用し、小口現金 ¥10,000 を小切手を振出して小口現金係に前渡した。
- 2) 後日、小口現金係から次のような報告を受けたので、ただちに小切手を振出して補給した。
交通費 ¥4,500 通信費 ¥3,000

Q. 8 完成工事未収入金と未成工事受入金

次の取引について仕訳を示しなさい。

- 1) 工事が完成したので、引渡し、その代金 ¥800,000 を請求した。
- 2) 工事代金の未収分 ¥600,000 が当預金口座に振込まれた。
- 3) 工事が完成したので、引渡し、請求金額 ¥1,000,000 から前受額 ¥300,000 を差引き、残額を請求した。

Q. 9 前渡金と工事未払金

次の取引について仕訳を示しなさい。

- 1) 葵建材店に、材料購入の前渡しとして現金 ¥20,000を支払った。
- 2) 高知工務店から材料を購入した代金 ¥100,000は翌月未払いとした。
- 3) 愛媛建材店から材料 ¥250,000を購入し、代金のうち ¥140,000は前渡金と相殺し、残額は翌月末日の支払の約束である。

Q. 13 仮払金と仮受金

次の一連の取引について仕訳を示しなさい。

- 1) 従業員の出張にあたり旅費概算額 ¥60,000を現金で渡した。
- 2) 出張中の従業員から ¥100,000の当座振込みがあったが、内容は不明である。
- 3) 出張から従業員が帰社し、旅費を精算して現金 ¥5,000の返金があった。なお、当座振込は、受注工事の内金であることがわかった。

Q. 10 未収入金と未払金

次の取引について南建設と東建設の仕訳を示しなさい。

- 1) 南建設は営業用の備品(帳簿上の金額は ¥90,000)を ¥70,000で同業者である東建設に売却し、代金は月末に受取ることとした。
- 2) 南建設は、先に東建設に売却した備品代金 ¥70,000を現金で受取った。

Q. 14 約束手形

次の取引について出雲建設と鳥取建設の仕訳を示しなさい。

- 1) 出雲建設は鳥取建設より外注工事を請け負い、完成した。その代金 ¥1,000,000のうち ¥850,000は鳥取建設振出しの約束手形で受取り、残額は翌々月末日に受取りの約束である。
- 2) 出雲建設は、先の鳥取建設振出しの約束手形が決済され、当座預金に入金された旨、取引銀行より連絡を受けた。

Q. 11 貸付金と借入金

次の取引について仕訳を示しなさい。

- 1) 仙台商店は福島商店に現金 ¥3,000を貸し付けた。
- 2) 仙台商店は上記貸付金を利息 ¥300とともに現金で返済を受けた。
- 3) 会津商店は前橋商店から ¥10,000を借入れ、利息 ¥100を差引かれた手取金を現金で受取った。
- 4) 会津商店は上記借入金を小切手を振出して返済した。

Q. 15 為替手形

次の一連の取引について東京塗装、関東建設、千葉ペイントの仕訳を行いなさい。

- 1) 東京塗装は、関東建設から塗装工事の受注を請負い、工事が完了したので、代金 ¥50,000を翌月末に受取る約束である。
- 2) 東京塗装は、千葉ペイントからペンキを購入し、得意先関東建設を名宛人とする為替手形 ¥50,000を振出し、関東建設の引受けを得て千葉ペイントに手渡した。
- 3) 手形の満期日となり、上記の為替手形が決済された。

Q. 12 立替金と預り金

次の一連の取引について仕訳を示しなさい。

- 1) 従業員に対して、給料の前払いとして ¥50,000を現金で支払った。
- 2) 給料日になったので上記1)の従業員に対して給料 ¥250,000から上記の前払分と源泉所得税 ¥30,000を差引き、残額を現金で支払った。
- 3) 上記2)の源泉所得税を現金で支払った。

Q. 16 手形の裏書譲渡・手形の割引

次の取引について仕訳を示しなさい。

- 1) 相模原建設は、暖房器具 ¥150,000を購入し、代金のうち ¥110,000は手持ちの約束手形を裏書譲渡し、残額は翌月末日の支払いとした。
- 2) かねて湯河原商店から受取った約束手形 ¥200,000を取引銀行で割引き、割引料 ¥5,000を差引かれた残額を当座預金をした。

Q. 17 手形貸付金と手形借入金

次の取引について京都建設と兵庫工務店の仕訳を示しなさい。

- 1) 京都建設は兵庫工務店に ¥600,000を貸付け、その利息 ¥30,000を差引き、残額を現金で支払った。借用証書の代わりとして兵庫工務店振出しの約束手形を受取った。

Q. 18 有価証券

次の取引について仕訳を示しなさい。

- 1) 有価証券（帳簿価額 ¥800,000）を売却し、その代金 ¥801,200を現金で受取った。
- 2) 取得価額 ¥95,000の株式の期末時価が ¥93,000となったので評価替えを行う。

Q. 19 有形固定資産

次の取引について仕訳を示しなさい。

- 1) 建設用機械1台を ¥900,000で購入し、代金は引取運賃、試運転費などの諸費用 ¥25,000とともに小切手を振出して支払った。
- 2) 機械（工事現場用）について減価償却費 ¥46,250を計上する。

Q. 20 個人企業における資本金勘定

次の取引について仕訳を示しなさい。

- 1) 大塚正一郎は、本日、大塚工務店を開業するにあたり、現金 ¥100,000、土地 ¥400,000、建物 ¥350,000を元入れした。
- 2) 大塚正一郎は家計費 ¥23,000を店の現金で支払った。
- 3) 大塚正一郎は事業拡張のための現金 ¥100,000を追加元入れをした。

Q. 21 完成工事原価の計算

次の資料により完成工事原価を計算しなさい。

■資料

- 1) 各費目の消費額
材料費 ¥4,200 労務費 ¥3,400 外注費 ¥2,600
経費 ¥5,700
- 2) 期首における未完成工事原価 … ¥1,900
- 3) 期末における未完成工事原価 … ¥1,400

Q. 22 原価の費目別計算

次の取引について仕訳を示しなさい。

- 1) 宮城建材店から材料 ¥430,000を購入し、本社倉庫に搬入した。代金のうち ¥70,000は前渡金を相殺し、残額は月末に支払うこととした。
- 2) 本社事務員の給料 ¥360,000と作業員の賃金 ¥280,000をそれぞれ現金で支給した。
- 3) 専門工事業者より作業完了の報告があり、その外注代金 ¥150,000は月末に支払うこととした。
- 4) 工事中ヘルメットを購入し、その代金 ¥115,000を小切手を振出して支払った。

Q. 23 原価の工事別計算

次のデータを参照して完成工事原価報告書を完成させなさい。

工事原価計算表（単位：円）

摘要	No. 25工事		No. 26工事
	前期分	当期分	当期分
材料費	16,000	23,000	21,000
労務費	8,000	10,500	9,500
外注費	9,000	9,900	10,150
経費	2,600	3,800	3,250
合計	35,600	47,200	43,900

(注)
当期中にNo. 25工事が完成し、No. 26工事は期末現在未完成である。

Q. 24 決算整理事項（貸倒引当金）

次の決算整理に関して仕訳を示しなさい。

- 1) 受取手形 ¥26,000と完成工事未収入金 ¥34,000の合計額に対して2%の貸倒引当金を差額補充法により設定する。なお、残高試算表上の貸倒引当金は ¥1,000である。
- 2) 1) で残高試算表上の貸倒引当金が ¥1,500であった場合の決算整理仕訳を示しなさい。

Q. 25 決算整理事項（完成工事原価の算定）

次の決算整理に関して必要な仕訳を示しなさい。なお、工事原価は未成工事支出金勘定を経由して処理すること。

- 1) 残高試算表上の材料費、労務費、外注費、経費の金額はそれぞれ、¥9,800、¥8,400、¥6,600、¥2,100である。
- 2) 経費については決算整理により、減価償却費が¥900計上される。
- 3) 残高試算表上の未成工事支出金は ¥3,300であり、期末残高は ¥2,000である。

Q. 29 資産・負債・資本（純資産）の決算振替

次の資産・負債・資本（純資産）の諸勘定残高の大陸式による決算振替仕訳を示しなさい。

- 1) 現金 ¥500、建物 ¥3,000、備品 ¥2,500、借入金 ¥1,000 資本金 ¥5,000 を残高勘定に振替える。

Q. 26 収益・費用の見越し

次の一連の取引について仕訳を示しなさい。

- 1) 10月1日、現金 ¥100,000を期間1年、利率6%、利払いは9月30日の後払いの条件で得意先に貸付けた。
- 2) 本日決算日(12月31日)につき必要な処理を行う。
- 3) 期首(1月1日)につき再振替仕訳を行う。

Q. 30 伝票会計(読取)

次の2枚の伝票(略式)は1つの取引から起票されたものである。平成×年3月12日の仕訳を示しなさい。

<u>出金伝票</u>	
平成×年3月12日	
工事未払金	4,000

<u>振替伝票</u>			
平成×年3月12日			
材	料	10,000	工事未払金
			10,000

Q. 27 収益・費用の繰延べ

次の一連の取引について仕訳を示しなさい。

- 1) 1月1日に向こう1年分の保険料 ¥150,000を小切手を振出して支払った。
- 2) 本日決算日(3月31日)につき必要な処理を行う。
- 3) 期首(4月1日)につき再振替仕訳を行う。

Q. 28 収益・費用の決算振替

次の収益・費用の諸勘定残高の大陸式による決算振替仕訳を示しなさい。

- 1) 完成工事高 ¥5,000、受取利息 ¥500、完成工事原価 ¥2,500、給料 ¥1,000を損益勘定に振替える。
- 2) 上記で計算された損益を資本金勘定に振替える。

建設業経理事務士 3級 合格ポイント集

A. 1 勘定科目 I

- 1) 完成工事未収入金
- 2) 未成工事支出金
- 3) 工事未払金
- 4) 未成工事受入金

A. 5 当座預金

- 1) (借)当座預金 5,000 (貸)現金 5,000
- 2) (借)工事未払金 3,000 (貸)当座預金 3,000
- 3) (借)支払利息 500 (貸)当座預金 500

A. 2 勘定科目 II

- 1) 資本金
- 2) 事業主借勘定
- 3) 事業主貸勘定
- 4) 完成工事高
- 5) 完成工事原価

A. 6 当座借越

- 1) (借)当座借越 80,000 (貸)完成工事高 150,000
当座預金 70,000
- 2) (借)工事未払金 60,000 (貸)当座預金 35,000
当座借越 25,000

A. 3 等式

期首資本(純資産)	期末資本(純資産)	当期収益	当期費用	当期純利益
250	(270)	90	70	(20)
300	330	120	(90)	(30)
(140)	190	(130)	80	50
320	(380)	180	(120)	60

A. 7 小口現金

- 1) (借)小口現金 10,000 (貸)当座預金 10,000
- 2) (借)交通費 4,500 (貸)当座預金 7,500
通信費 3,000

A. 4 現金

- 1) (借)現金 100 (貸)現金過不足 100
- 2) (借)現金過不足 70 (貸)受取利息 70
- 3) (借)現金過不足 30 (貸)雑収入 30

A. 8 完成工事未収入金と未成工事受入金

- 1) (借)完成工事未収入金 800,000 (貸)完成工事高 800,000
- 2) (借)当座預金 600,000 (貸)完成工事未収入金 600,000
- 3) (借)未成工事受入金 300,000 (貸)完成工事高 1,000,000
完成工事未収入金 700,000

A. 9 前渡金と工事未払金

- 1) (借)前 渡 金 20,000 (貸)現 金 20,000
- 2) (借)材 料 100,000 (貸)工事未払金 100,000
- 3) (借)材 料 250,000 (貸)前 渡 金 140,000
工事未払金 110,000

A. 10 未収入金と未払金

南建設

- 1) (借)未 収入金 70,000 (貸)備 品 90,000
備品売却損 20,000
- 2) (借)現 金 70,000 (貸)未 収入金 70,000

東建設

- 1) (借)備 品 70,000 (貸)未 払 金 70,000
- 2) (借)未 払 金 70,000 (貸)現 金 70,000

A. 11 貸付金と借入金

- 1) (借)貸 付 金 3,000 (貸)現 金 3,000
- 2) (借)現 金 3,300 (貸)貸 付 金 3,000
受取利息 300
- 3) (借)現 金 9,900 (貸)借 入 金 10,000
支払利息 100
- 4) (借)借 入 金 10,000 (貸)当 座 預 金 10,000

A. 12 立替金と預り金

- 1) (借)立 替 金 50,000 (貸)現 金 50,000
- 2) (借)給 料 250,000 (貸)立 替 金 50,000
預 り 金 30,000
現 金 170,000
- 3) (借)預 り 金 30,000 (貸)現 金 30,000

A. 13 仮払金と仮受金

- 1) (借)仮 払 金 60,000 (貸)現 金 60,000
- 2) (借)当 座 預 金 100,000 (貸)仮 受 金 100,000
- 3) (借)旅 費 交 通 費 55,000 (貸)仮 払 金 60,000
現 金 5,000
(借)仮 受 金 100,000 (貸)未成工事受入金 100,000

A. 14 約束手形

出雲建設

- 1) (借)受 取 手 形 850,000 (貸)完 成 工 事 高 1,000,000
完成工事未収入金 150,000
- 2) (借)当 座 預 金 850,000 (貸)受 取 手 形 850,000

鳥取建設

- 1) (借)外 注 費 1,000,000 (貸)支 払 手 形 850,000
工 事 未 払 金 150,000
- 2) (借)支 払 手 形 850,000 (貸)当 座 預 金 850,000

A. 15 為替手形

東京塗装 (振出人)

- 1) (借)完成工事未収入金 50,000 (貸)完 成 工 事 高 50,000
- 2) (借)材 料 50,000 (貸)完成工事未収入金 50,000
- 3) 仕訳なし

関東建設 (名宛人)

- 1) (借)外 注 費 50,000 (貸)工 事 未 払 金 50,000
- 2) (借)工 事 未 払 金 50,000 (貸)支 払 手 形 50,000
- 3) (借)支 払 手 形 50,000 (貸)当 座 預 金 50,000

千葉ペイント (指図人)

- 1) 仕訳なし
- 2) (借)受 取 手 形 50,000 (貸)売 上 50,000
- 3) (借)当 座 預 金 50,000 (貸)受 取 手 形 50,000

A. 16 手形の裏書譲渡・手形の割引

- 1) (借)備 品 150,000 (貸)受 取 手 形 110,000
未 払 金 40,000
- 2) (借)当 座 預 金 195,000 (貸)受 取 手 形 200,000
手 形 売 却 損 5,000

※ 手形割引に関しては、割引料を手形の売却と考え、「手形売却損」で処理しますが、3級では「支払利息割引料」を使用することもありますので、問題文の指示に従うようにしてください。

A.17 手形貸付金と手形借入金

京都建設

1) (借)手形貸付金	600,000	(貸)現金	570,000
		受取利息	30,000

兵庫工務店

1) (借)現金	570,000	(貸)手形借入金	600,000
	支払利息	30,000	

A.21 完成工事原価の計算

材料費	4,200	完成工事原価
労務費	3,400	
外注費	2,600	
経費	5,700	
		未成工事支出金
		期首 1,900
		期末 1,400
		完成工事原価
		16,400

∴ 完成工事原価：¥16,400

A.18 有価証券

1) (借)現金	801,200	(貸)有価証券	800,000
		有価証券売却益	1,200
2) (借)有価証券評価損	2,000	(貸)有価証券	2,000

A.22 原価の費目別計算

1) (借)材料	430,000	(貸)工事未払金	360,000
		前渡金	70,000
2) (借)給料	360,000	(貸)現金	640,000
	労務費	280,000	
3) (借)外注費	150,000	(貸)工事未払金	150,000
4) (借)経費	115,000	(貸)当座預金	115,000

A.19 有形固定資産

1) (借)機械装置	925,000	(貸)当座預金	925,000
2) (借)経費	46,250	(貸)機械装置減価償却累計額	46,250

A.23 原価の工事別計算

完成工事原価報告書	
	(単位：円)
I. 材料費	39,000
II. 労務費	18,500
III. 外注費	18,900
IV. 経費	6,400
完成工事原価	82,800

A.20 個人企業における資本金勘定

1) (借)現金	100,000	(貸)資本金	850,000
	土地	400,000	
	建物	350,000	
2) (借)事業主貸勘定	23,000	(貸)現金	23,000
3) (借)現金	100,000	(貸)事業主借勘定	100,000

A.24 決算整理事項(貸倒引当金)

1) (借)貸倒引当金繰入額	200	(貸)貸倒引当金	200
2) (借)貸倒引当金	300	(貸)貸倒引当金戻入	300

A.25 決算整理事項 (完成工事原価の算定)

(借)未成工事支出金	27,800	(貸)材	料	費	9,800	
			労	務	費	8,400
			外	注	費	6,600
			経	費	3,000	
(借)完成工事原価	29,100	(貸)未成工事支出金			29,100	
* 完成工事原価: 未成工事支出金 ¥27,800+期首分 ¥3,300 -期末残高 ¥2,000=¥29,100						

A.29 資産・負債・資本(純資産)の決算振替

1) (借)残	高	6,000	(貸)現	金	500	
			建	物	3,000	
			備	品	2,500	
(借)借	入	金	1,000	(貸)残	高	6,000
資	本	金	5,000			

A.26 収益・費用の見越し

1) (借)貸	付	金	100,000	(貸)現	金	100,000	
2) (借)未	収	利息	1,500	(貸)受	取	利息	1,500
3) (借)受	取	利息	1,500	(貸)未	収	利息	1,500

A.30 伝票会計(読取)

(借)材	料	10,000	(貸)現	金	4,000			
			工	事	未	払	金	6,000

A.27 収益・費用の繰延べ

1) (借)支	払	保	険	料	150,000	(貸)当	座	預	金	150,000	
2) (借)前	払	保	険	料	112,500	(貸)支	払	保	険	料	112,500
3) (借)支	払	保	険	料	112,500	(貸)前	払	保	険	料	112,500

A.28 収益・費用の決算振替

1) (借)完成	工	事	高	5,000	(貸)損	益	5,500	
			受	取	利息	500		
(借)損	益	3,500	(貸)完成	工	事	原	価	2,500
			給	料	1,000			
2) (借)損	益	2,000	(貸)資	本	金	2,000		